

木と土のパーゴラ

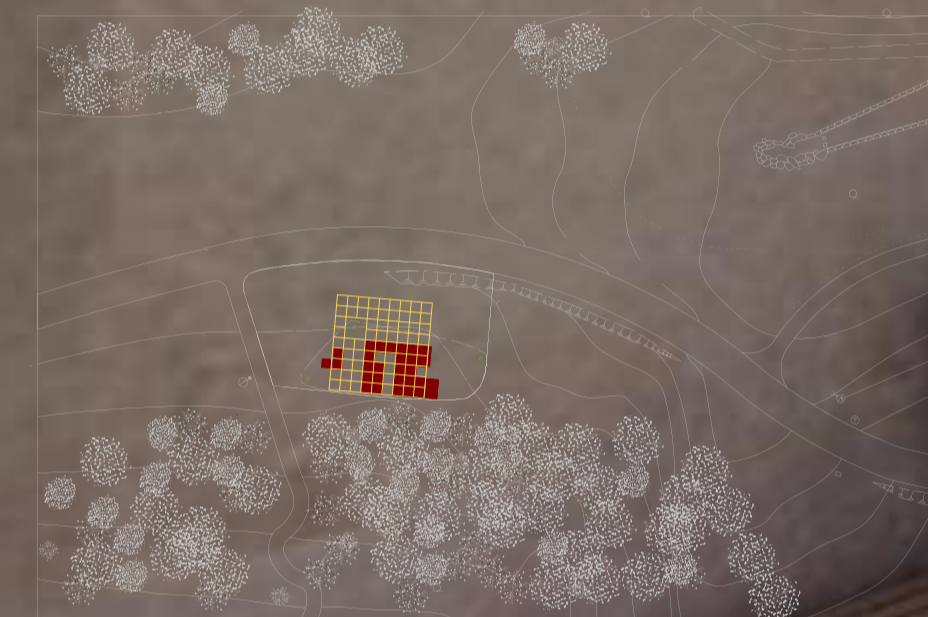
0445

私たちは根岸森林公園の豊かなランドスケープの中に、木と土でできたパーゴラを設え、様々な人々が日常の延長として気軽に利用できるように日陰のあるトイレを提案します。

緩やかな大きな芝生の上に浮かぶように架けられたおらかな木架構の屋根は、地表面から立ち上がる土壌と一体となって立ち上がり、深緑の森との新たな調和を作り出します。

パーゴラによって生まれた空中の植生面に植物が繁茂することで、夏季には開かれた公園の大地に日陰を作り出し、四季を通して雨宿りができるような居場所となります。犬の散歩やランニング、ピクニックなど様々なアクティビティをしている来園者に開かれた休憩所・集会所または災害時の拠点などとして存在することで、常に人に囲まれた明るく利用しやすいトイレの整備を目指します。

地球と繋がる木架構のパーゴラが根岸森林公園の環境的な広場として開かれることで、横浜市公共建築100周年事業にふさわしい未来のシンボルとなることを目指します。

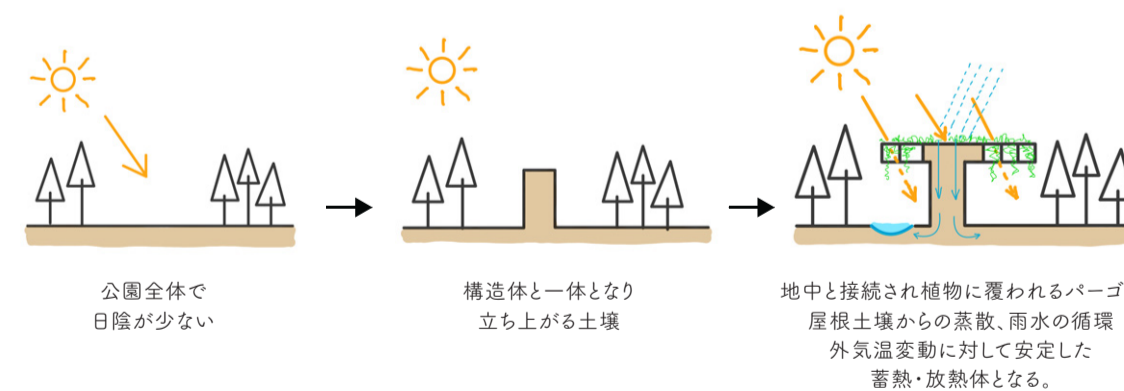


配置図 1/1000

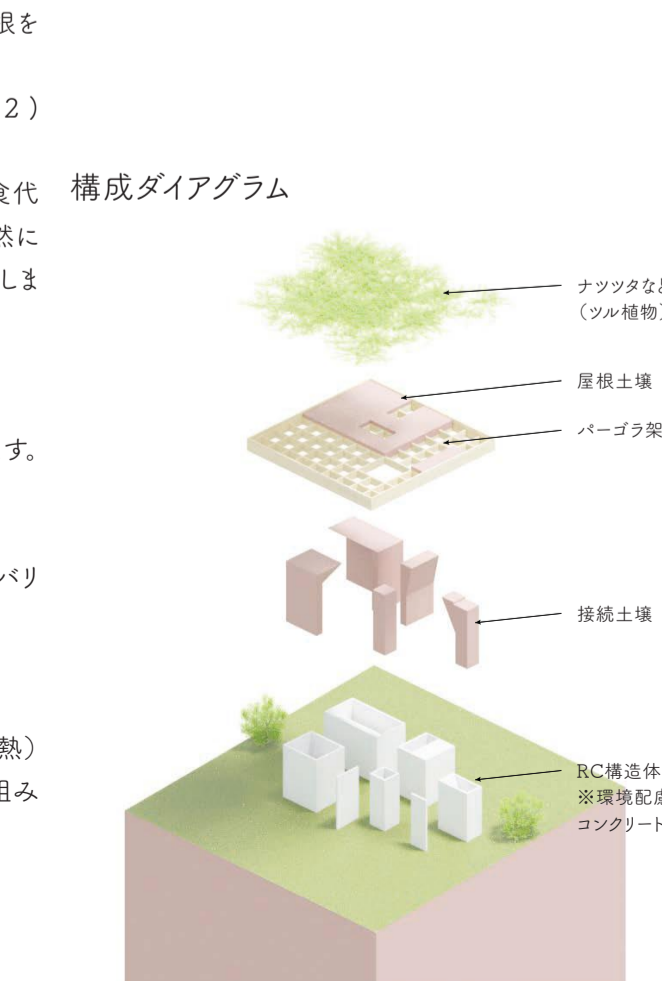


大きな木架構と接続土壌

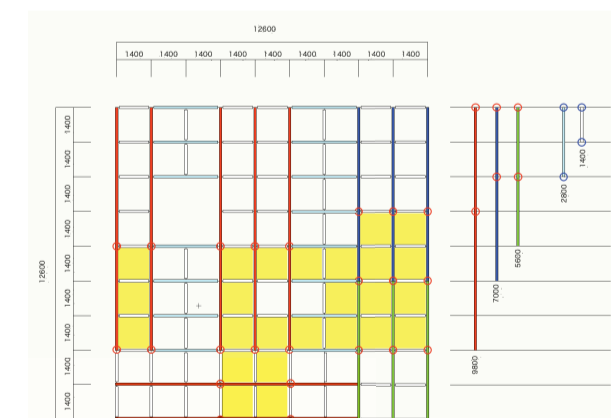
ダイアグラム (fig.1)



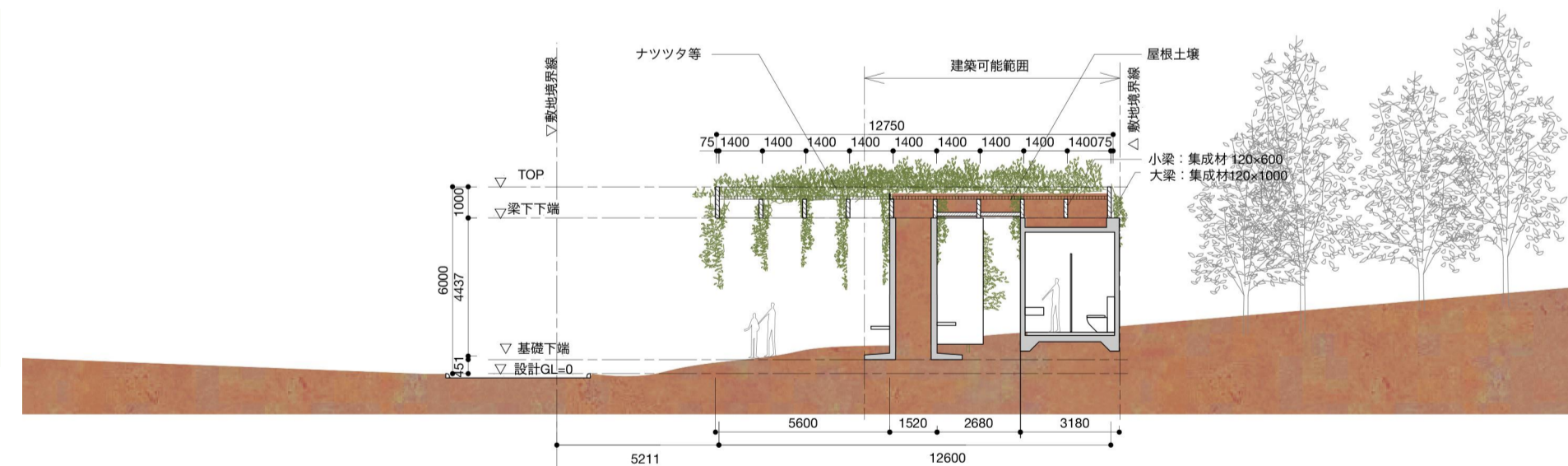
構成ダイアグラム



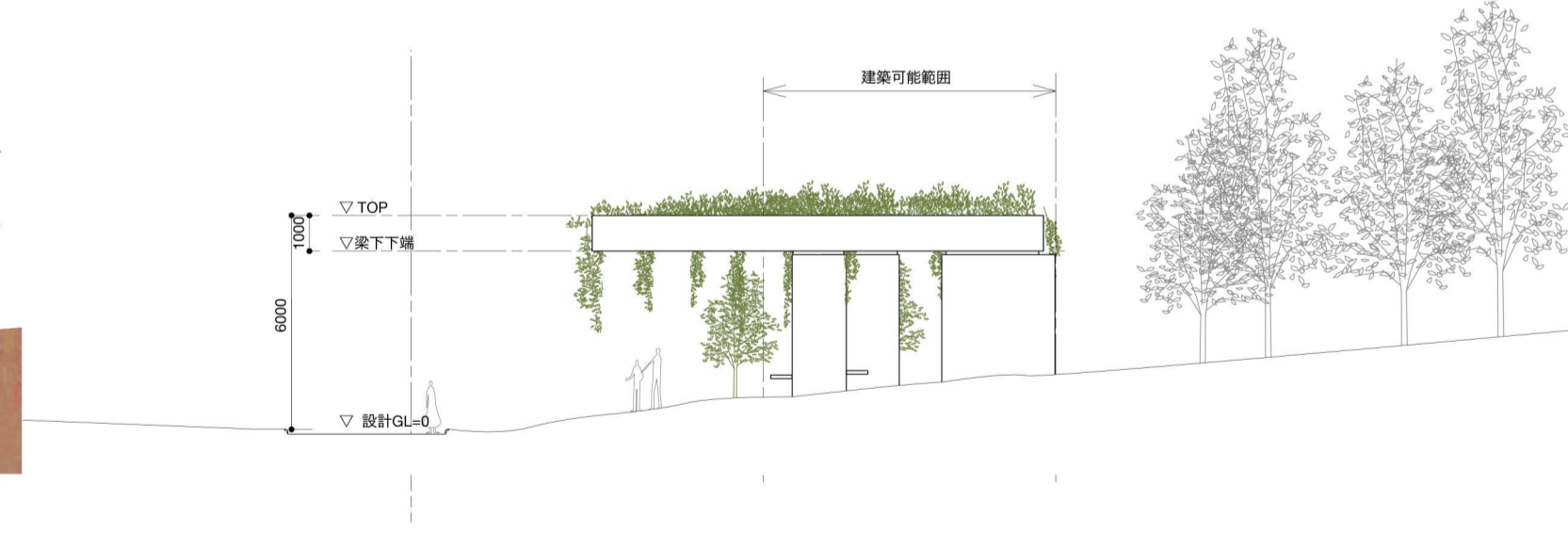
パーゴラ架構システム (fig.2)



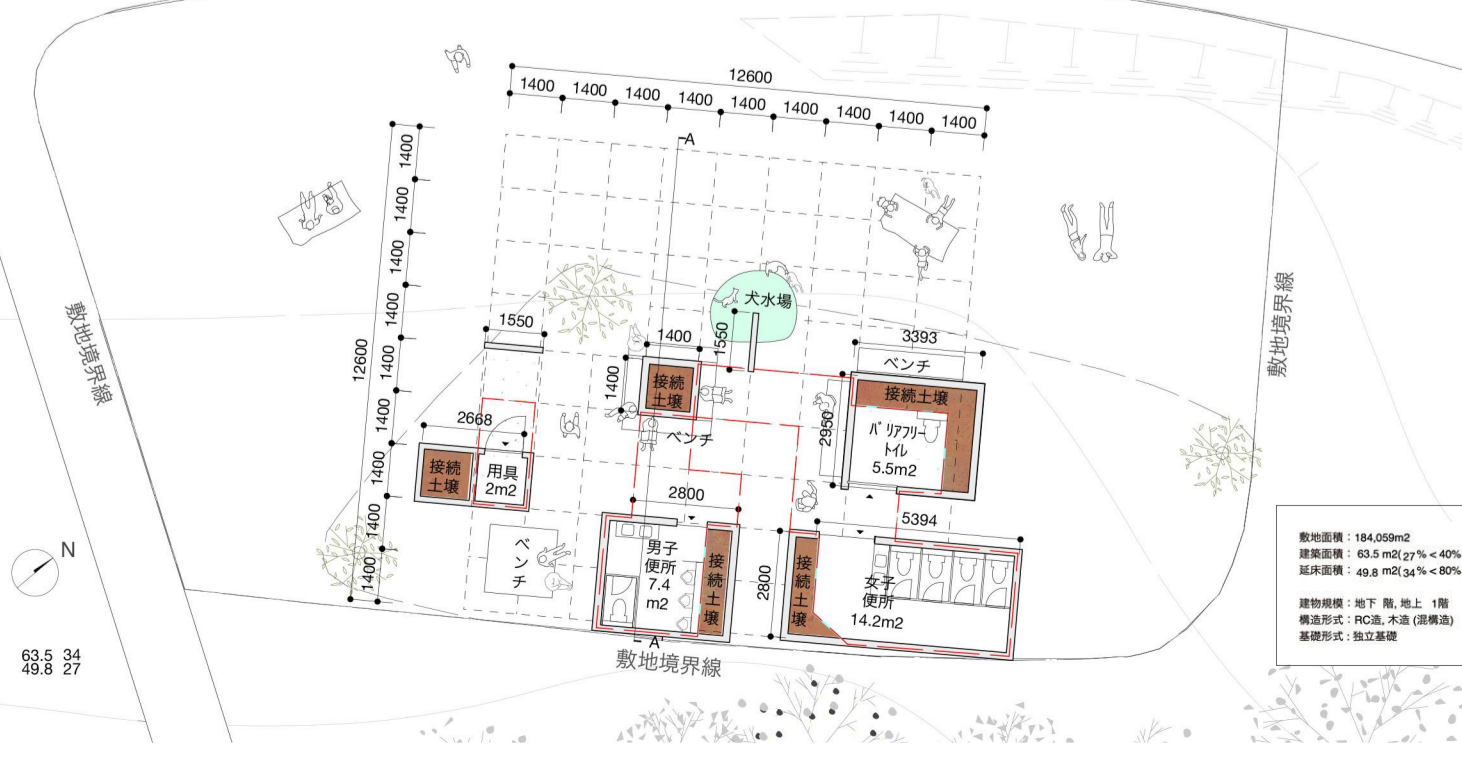
断面図 1/200



立面図 1/200



平面図 1/200



屋根伏図 1/200



男子トイレイメージ

